

はぐもっくプロダクト

(はぐ=はぐくむ、抱きしめるのハグ)

住田町で新生児の誕生を祝い記念品を贈呈する「はぐもっく事業」の中から厳選した木工品が登場。住田在住の木工作家・大村圭さんが住田で育った木を使い、家族のふれあい、子供たちのすこやかな笑顔を思い描いて、一つ一つ作り出しています。

『木のスプーン』

離乳食用の木製スプーンとケースのセット。ケースの裏にお名前と生年月日を入れ、全てのお子様にお贈りいたします。



初めて口にする食器は、 自然と人の温もりから生まれたカトラリー

製作者より：ケースはホオノキから作りました。ホオノキは、灰緑色の木肌が特徴で、日本刀の鞘の材料に使われる木材です。そして灰緑色という木肌の色は他の木に見られない珍しい色です。スプーンは、梨・ケンボ梨・椿（ツバキ）ツバキなどの堅い広葉樹です。木目が詰まっていますので堅く、加工も大変なのですが、仕上げの磨きをしたものの感触はまるでプラスチックのようにツルツルとしています。だから、赤ちゃんのお口にとっても優しいスプーンだと思います。

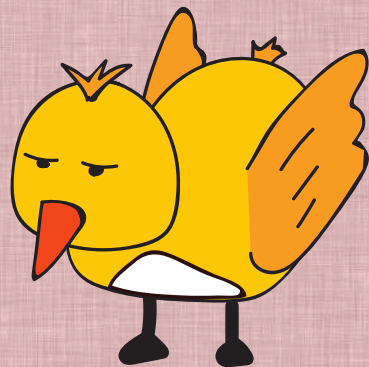
製作者より：玄関先に置いた箱の中から、家族三人がそれぞれ一つ笛を選んで首にかけ、野山へ散策に出かける。そんな光景をイメージして作りました。森の中でよく聞く音ができるように調整してありますが、音を出すのはちょっとだけ練習が必要です。誰の音色に鳥が反応するか、散歩の最中に競ってみるのも楽しいと思いますよ。

幅 23cm× 23cm(ケース) 大きな笛がミニオカリナ・小さな笛がトンビ・枝をくりぬいた笛がうぐいすの鳴き声がする、森の音色三点セット。



『もりのふえ』

うらめんにつづく→



だだゆじり緒に住田を遊ばせりー

お中になっちゃっ自然の音色



『もっきん』

幅 32cm x 奥行 20cm 叩くと暖かい木の音が響く楽器です。

製作者より：杉という材質が持つ温もりの音を知ってもらいたくて作りました。鍵盤はサクラやクリなどの広葉樹です。杉は柔らかすぎて、鍵盤には使えません（笑）。木材は湿度が高いと膨張し、低いと収縮するので、「木材が呼吸する」と言われたりします。この木琴は無垢材で無塗装のため、梅雨時と真冬ではちょっと音色が変わると思います。そんな木という素材が持つ特徴も遊びを通して知ってもらえると嬉しいですね。

『こどもイス』

座面までの高さ 23cm 木そのものの存在を感じられる、耳つき木材を使用したこどもイス（耳つき=木材の樹皮がついていた耳という部分を残して製材されたもの）

製作者より：座面となる耳つきの木材の姿からイメージがふくらんでカタチが生まれます。だから、背もたれの位置、座面のカタチも一つ一つ違う、世界にただ一つだけのイスです。材料はケヤキやナラなどの広葉樹だから頑丈ですし、年月で風合いという成長をみせてくれます。



大村氏に押し！世界にたった一つ、生涯を共に出来るおんこイスを

※子育てマメ知識
 子供の歯並びの良し悪しは、遺伝的要因と、姿勢や癖などの環境が原因です。顔立ちや顎も成長途中。足が宙ふらりんでは、落ち着き、咀嚼に悪い影響しかありません。床に足をつけて食事することで、噛む力が増し、噛み合わせや歯並びがよくなる、と言われています。

